

子吉川の想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域等を公表！！

～的確な避難行動につながる防災情報の周知～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、関係機関と連携して、ハード・ソフト一体となった減災の取組を進めているところです。減災の取組の一環として、市町村長による避難勧告等の適切な発令や的確な避難行動に役立つよう、子吉川の直轄管理区間における、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域※1を公表しました。

平成27年の水防法改正を踏まえ、これまでの洪水浸水想定区域を見直し、想定し得る最大規模の洪水により浸水が想定される区域と深さに加え、家屋倒壊等の発生が想定される区域を示した家屋倒壊等氾濫区域※2も公表しています。

これらの情報により、市町村長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難の取組が進むことが期待されます。

公表した資料は、秋田河川国道事務所ホームページで見ることができます。

<http://www.thr.mlit.go.jp/akita/kasen/shinsuimap/index.html>

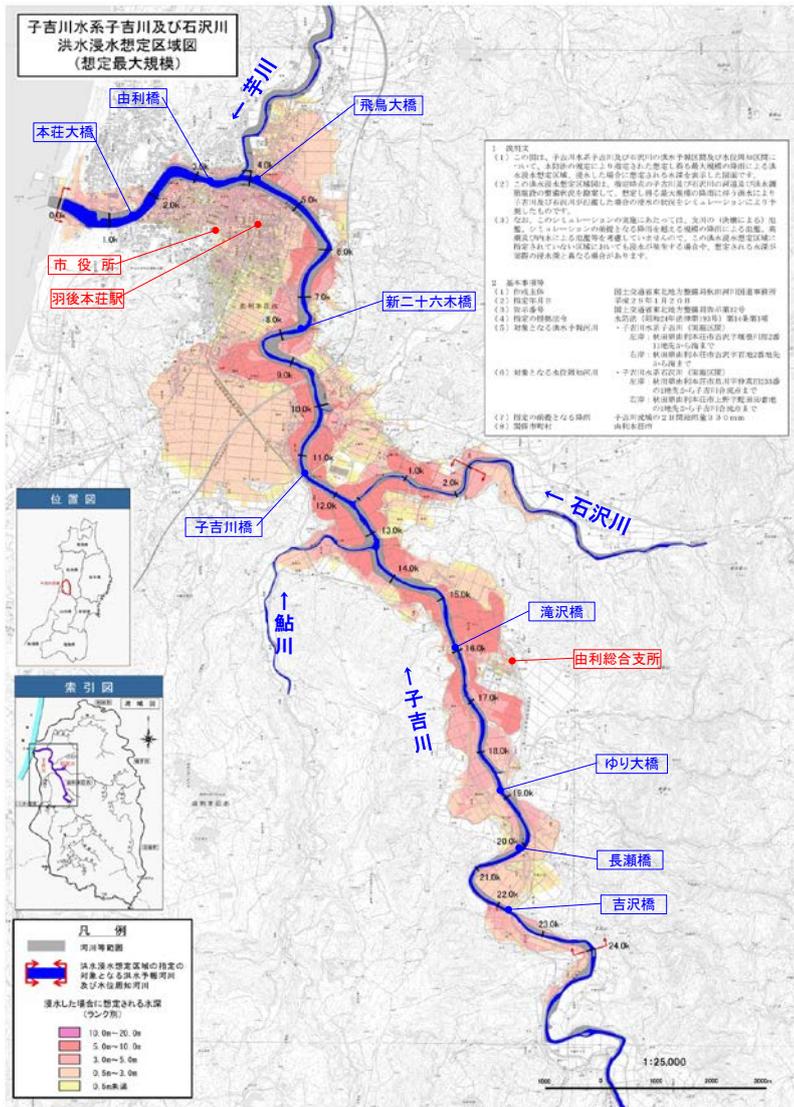
※1 洪水浸水想定区域とは

水防法第14条第1項の規定により、対象とする河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域です。平成27年水防法改正では、洪水浸水想定区域の前提となる降雨を、従前の河川整備の基本となる計画降雨から想定最大規模の降雨に変更し、今後、全国の河川で見直しが行われます。

※2 家屋倒壊等氾濫想定区域とは

一定の条件下においてね家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域です。

昨年の台風10号、一昨年に関東東北豪雨の洪水被害は記憶に新しいところです。この機会に、ご自宅や職場などが洪水浸水想定区域に含まれていないか確認いただき、いざというときの避難行動にお役立て下さい。



今回公表した洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

水質事故に注意！

冬期は、暖房に使用する灯油の流出事故が多く発生しています。その多くは「給油中にその場を離れ忘れたり」、「ホームタンクの栓の緩み」などのヒューマンエラーによるものとなっています。河川水は、水道用水等として利用されており、水質事故（油等の流出）が発生するとこれらに影響を与えないよう、オイルフェンスや吸着マットによる拡散防止や油の回収作業が必要となる場合があります。この作業には多額の費用を要し原因者が負担することにもなりますので十分に注意して下さい。

【油流出事故を防ぐための心がけ】

- ・ 給油中はその場を離れない、目を離さない（ストーブに給油後、ホームタンクからポリタンクへの小分け時は特に注意）。
- ・ 給油後はホームタンクの栓をしっかり閉める（栓を完全に閉めるのに力を入れないと閉まらないような場合は特に注意）。
- ・ 配管や機器は、こまめに点検する（配管の他、機器との接続部も点検が必要です）。
- ・ 落雪対策をきちんと行う（落雪による配管破断に加え、融雪時にも配管破断する場合があります）。

【万が一、油流出事故を起こしてしまったら】

- ・ 速やかに市役所又はお近くの総合支所や消防署、県や国の機関に連絡をお願いします。



水路で実施した拡散防止工（H29.1月）



オイルフェンス設置訓練の状況（H28.11月）
※ 消防、市、県、国で毎年実施しています。

【川の防災情報】URL

◇パソコンから→<http://www.river.go.jp/>

◇携帯電話から→<http://i.river.go.jp/>



◎ご意見・問い合わせ先 子吉川出張所 『せせらぎ通信』担当
由利本荘市石脇字田尻29 電話 0184-22-6360

ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/akita/>

【秋田道川情報STATION⇒(上部タグ)事務所⇒出張所ホームページ⇒子吉川出張所】